

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	その他専門店〔楽器〕 （経営者）	・観光客の増加というプラス材料が全般的に活気をもたらしている。テロ事件やSARSなどの問題が何も起こらないことを前提にすれば、雇用や若年者の就職率、購買力の回復等に大きく影響を与え来年は好況になる。
		その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	・既存店の売上が前年同月比112%で好調に推移している。
		ゴルフ場（経営者）	・3月頃まで、ゴルフの需要客は前年を上回ると予測される。
	変わらない	百貨店（担当者）	・現状の景況が気温変化による一過性のものなのか、あまりにも10月との変化が大きく、判断が困難である。
		スーパー（経営者）	・大型店の出店等により、来客数、客単価ともに前年を割れている状況にあり、今後もこの厳しい状況は続く。
		コンビニ（エリア担当）	・年末のボーナス支給が前年以上とのことであり、財布のひもも多少緩む。
		コンビニ（エリア担当）	・現状より景気が良くなる要因はないが、現状のやや良い景況はしばらく続く。
		家電量販店（副店長）	・消費動向は停滞し、価格も低下しており、また客の現状の購買単価からも、今後も客の商品購買における慎重さは変わらない。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・現在の集客状況から、12、1月とも稼働率は昨年並み程度と予測している。
		旅行代理店（経営者）	・国内旅行は順調に推移しているが、海外旅行は伸び悩みが続いている。やはり国際情勢が回復しないとなかなか難しい。
	やや悪くなる	一般小売店〔衣料・雑貨〕 （店長）	・世界情勢の不安定さが旅行への動きを鈍らせ、沖縄への観光客の減少が予想される。
		コンビニ（経営者）	・例年より暖かいというよりも暑いため、年末、年始にかけてのシーズン商品の売行きが危惧される。
		コンビニ（経営者）	・例年ならば11月末から毎年忙しくなってくるが、現時点での客の動きは鈍い。
悪くなる	-	-	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（総務担当）	・例年この時期は物量が安定するが、中心市近郊で大型商業施設のオープンが予定されていることから、物量が増加する。
	変わらない	建設業（経営者）	・厳しい競争の中にあり、問い合わせがあっても、問い合わせから契約、契約から完成までの時間が長くなっている。
		通信業（営業担当） 不動産業（支店長）	・現状維持がやっとの状況である。
	やや悪くなる	輸送業（営業担当）	・大きなイベント等の予定はあるものの、あまり期待はできず、今月より悪くなる。
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・建設業界は厳しい状況に迎つつあるが、観光産業からの求人数が増えているため、観光産業がけん引し、年末年始にかけて景気はやや良くなる。
	変わらない	求人情報誌製作会社 （営業担当）	・求人企業数及び求職者数が増加してきており、年末に離職者が少なくなれば、良い状態が続く。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は前年同月比で2.5%と微増となっている。 ・有効求職者数は新規求職者数の3.8倍と多く、そのうちの44.1%が雇用保険受給者となっており、求職者が滞留し、長期化している。雇用保険受給者数も新規求職者に占める雇用保険受給者数の7.1倍と多くなっている。 ・また、中高年についても有効求職者数が新規求職者数の5.1倍となり、いったん離職すると再就職が厳しい状況となっている。雇用の面ではまだまだ厳しい状況が続く。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	